

日 時：2025 年 7 月 12 日（土）13 時 30 分～ 16 時（受付開始 13 時）
場 所：大手町サンケイプラザ 4 階ホール
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2
URL <https://www.s-plaza.com/>

テーマ：～ふるさとの記憶とともに 未来を創る～
参加人数：192 名（来賓 7 名、一般参加者 185 名）
当番幹事期：東高 44 期

今回の総会・懇親会のテーマは、「～ふるさとの記憶とともに 未来を創る～」としました。同窓会は、どのような場なのか、同窓会には何が求められているのか、どうあるべきなのか、そのような議論を重ねました。44 期は、高校時代の仲間との再会を懐かしみ、楽しむのは勿論、その再会により力をもらえること、その力により一歩進むことができることに意義を見出しました。そのような想いをテーマに込め、ナナカマドと渦の先に見える光としてキービジュアルに表現しました。

「第 59 回 旭川東高等学校 東京同窓会 総会・懇親会」を 7 月 12 日（土）に開催いたしました。昨年から会場を大手町サンケイプラザに変更しており、東京駅を含む最寄り駅からのアクセスのしやすさや、料理、会場施設・スタッフ、費用も良好であることから、参加者、幹事から好評でした。

例年、総会・懇親会後に各期で懇親会が開催され、各期懇親会の開始時間を考慮し、総会・懇親会の終了時刻を 16 時に設定しました。それに伴い総会開始時刻を昨年より 30 分遅らせ、13 時 30 分（受付開始 13 時）としましたが大きな混乱はなくスムーズに進行することができました。

13 時 30 分からは、杉本隆利事務局長（東高 29 期）の進行で総会が始まり、山川智会長（東高 29 期）から総会・懇親会のテーマを解説いただき、同窓会に集まることで、お互いに力をもらう、頑張りを応援する旨挨拶がありました。その後、杉本事務局長から 2024 年度の会務・会計報告がなされ承認されました。続けて、会長の任期満了の説明があり、山川会長の再任（2 期目）について承認され、総会は終了しました。

13 時 40 分、宮川寿香さん（東高 42 期）制作のオープニングムービーの上映とともに懇親会が開始しました。司会は、当番期の伊東和江（東高 44 期、元放送部所属）が務めました。来賓挨拶として郡司慶次校長、旭川東高同窓会の荒井保明会長、札幌突兀会の大村東生会長から祝辞をいただき、旭川東高同窓会からの来賓 4 名の紹介後、加藤桂子さん（東高 7 期）が乾杯のご発声をしました。その後、活躍する卒業生を代表してパリオリンピックのゴールドメダリストの北口榛花さん（東高 66 期）、大阪・関西万博の大屋根リングの設計者である藤本壮介さん（東高 40 期）のインタビュームービーを上映しました。また、今回の懇親会参加者の最年長（東高 5 期）と最年少（東高 74 期）の方々に、旭川の銘菓「き花」をプレゼントしました。約 70 期に渡る卒業生が一堂に会し、期を超えた交流が各所で見られ、懇親会は盛況でした。

会は進み、本年 8 月に旭川で開催される旭川同窓会の当番期である 55 期のメンバーと荒井会長から旭川同窓会のアピールが行われ記念品販売も行われました。

懇親会の終盤、恒例の校歌斉唱で、早坂克孝さん（東高 15 期）にエールをきっていただきました。そして、今回の当番期での代表幹事である金子淳（東高 44 期）から、参加者へのお礼と、当番幹事をする中で得られた同期の絆と、高校時代に学んだことの体現についてお話ししました。その後、次期当番期の代表幹事花本伸行さん（東高 45 期）から第 60 回に向けての抱負が語られました。最後に高木宏明前会長（東高 20 期）から締めめの挨拶があり、一本締めにより第 59 回総会・懇親会は終了しました。

今回、43 期の先輩から本同窓会が無理なく永続的に運営されるものでありたいというサステナブルなマインドを引き継ぎ、そのタスキを 45 期につなげたと思います。そして、「やるべきこと」に対応する毎日を過ごす中、「やりたいこと」に夢中になっていた約 30 年前のように、同期と成し遂げられたことは良い思い出になりました。準備不足、配慮不足な点多々あったかと思いますが、当番幹事を任されたことに感謝しています。同窓会が、過去を懐かしむだけでなく、未来を創る、そのような力が得られる機会になりましたら幸いです。200 名近くの方々に参加いただき、改めて御礼申し上げます。



なお、当日の様子は写真でご覧いただけます。



司会進行をする杉本事務局長



あいさつをする山川会長



来賓あいさつをする郡司校長



旭川東高同窓会 荒井会長



札幌突兀会 大村会長



乾杯の発声は7期の加藤さん



恒例の参加者全員の校歌斉唱



締めめのあいさつをする高木前会長